

静岡県インフラビジョン 概要



静岡県インフラビジョンとは

「県土づくりの方向性・考え方を示す指針」

- インフラは、生活・産業など、あらゆる活動を行う上で、**必須・不可欠の基盤**であり、**社会全体で保有する貴重な資産**
- インフラの整備は未来を担う**将来世代への投資**となるため、**戦略的・計画的に進めることが必要**

2050年の将来を見据えた目指す姿

「幸福度日本一の静岡県」

人々が未来に希望を持てる地域づくりに取り組み、個人と社会全体の**ウェルビーイングの向上**を図ることにより、オール静岡で「幸福度日本一の静岡県」を実現

- ・ 災害に強く、安定した経済活動・社会活動ができる静岡県
- ・ 人口減少下においても、人々が生き生きと暮らし続けることができる静岡県
- ・ 豊かな自然環境のもとで、地域に対して誇りや愛着を持てる静岡県

社会情勢の変化に伴い、インフラに関わる課題が多様化・複雑化していることから、**県民、民間企業、教育機関等の垣根を越えた連携・協働の取組**により、**インフラの質を高め賢く使うようマネジメントし、インフラを将来世代へとつないでいく**

ビジョン（今後10年間の県土づくりの方向性） 2025 - 2034

- 「ウェルビーイング」の向上を図っていくためには、安定した暮らし、経済・産業の成長、豊かな自然環境の維持が重要 ⇒ **3つの重点分野を設定**
- 複雑に関連する3つの重点分野の課題をあらゆる関係者で解決 ⇒ **分野を横断する「共創」を設定**

安全・安心

安全・安心な生活を送れるよう、**被害を最小限にとどめる県土づくり**

- ・ 災害に屈しない県土強化の取組の推進
- ・ 伊豆半島などの条件不利地域における事前防災対策の強化
- ・ 持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けた取組の加速
- ・ 交通事故被害の減少のために、日常に潜むリスクの除去・軽減対策の強化

活力・交流

ヒト・モノの流れやまちの賑わいを創出し、**持続可能で豊かな県土づくり**

- ・ シームレスな交通ネットワークの形成・強化
- ・ 港湾・空港の利用促進の取組強化
- ・ 地域の文化的・自然的特性を活かしたコンパクトなまちづくりの推進
- ・ 地域公共交通のリ・デザインによる利便性確保
- ・ モーダルシフトや自動運転など物流の効率化の促進

環境・景観

美しい景観と豊かな自然があふれ、**安らぎを感じる県土づくり**

- ・ 2050年カーボンニュートラル達成に向けた取組の推進
- ・ 生物多様性の損失を止め、反転させていく取組の推進
- ・ 本県独自の美しい景観を活かす取組の推進
- ・ 循環経済の実現に向けた取組の推進

共創

地域のあらゆる力を結集し、**いっしょに課題解決する取組**

- ・ インフラマネジメントにおける多様な主体との連携
- ・ 業界全体での魅力発信や働き方改革等による担い手確保・育成
- ・ デジタル技術による生産性向上

インフラマネジメントによりストック効果を最大化

安全・安心

施策1 激甚化・頻発化、切迫する自然災害への防災・減災対策の強化

- ・ 緊急輸送路の耐震対策
- ・ 伊豆半島の道路ネットワークの強靱化と防災拠点の強化
- ・ 津波対策の推進
- ・ 土砂災害対策の推進
- ・ 流域治水の推進(事前防災対策)

施策2 持続可能なインフラメンテナンスの推進

- ・ 老朽化するインフラの長寿命の推進
- ・ デジタル技術を活用したインフラメンテナンスの効率化

施策3 安全で快適な移動空間の確保

- ・ 安全な歩行空間等の整備推進
- ・ 自転車通行空間の整備推進

活力・交流

施策1 陸海空の交通ネットワークの強化と交流拠点となる港湾・空港の利用促進

- ・ 高規格道路等の広域道路網や一体的に機能する周辺道路の整備推進
- ・ 港湾施設の新設、環境保全等の推進
- ・ クルーズ船の寄港による地域経済の活性化、大型クルーザー誘致に向けた取組の推進
- ・ 民間活力を活用した空港西側県有地等の利活用促進・空港機能の向上

施策2 持続可能な集約連携型まちづくりの推進

- ・ 立地適正化計画に基づく居住や都市機能の適正な配置
- ・ 公共ライドシェア等の導入支援
- ・ 沼津駅周辺総合整備事業を始めとした区画整理事業、市街地整備事業、街路事業の推進

施策3 持続可能な農山漁村づくりの推進

- ・ 区画整理等による生産コストの低減と高収益作物の導入支援
- ・ 漁港施設の整備・適切な管理
- ・ 林道の改良・舗装による機能強化

環境・景観

施策1 自然との共生と美しい景観の形成

- ・ 河川・海岸の景観形成と環境に配慮した整備の推進
- ・ 森の防潮堤づくりによる海岸防災林の造成
- ・ 森の力再生事業による荒廃森林整備

施策2 カーボンニュートラルの推進

- ・ CO2の排出削減
- ・ CO2の吸収対策の推進
- ・ 省エネルギー対策の強化

施策3 サーキュラーエコノミーの推進

- ・ 県産材利用の推進
- ・ 建設発生土の有効利用
- ・ 浚渫土(脱水処理土)の有効利用

共創

● 多様な主体と連携した取組

- ・ 公共ライドシェア等の導入促進
- ・ 地域と連携したまちづくりの推進
- ・ インフラ経営の推進

● 担い手確保・育成の取組

- ・ 建設産業の重要性やものづくりの楽しさ等の魅力発信
- ・ 建設技術者人材バンクの創設
- ・ デジタル工事銘板の普及
- ・ 働きやすい職場環境の確保

● 生産性向上の取組

- ・ 包括的なインフラ管理委託の推進
- ・ デジタル技術を駆使した効率的な維持管理手法の導入
- ・ VIRTUAL SHIZUOKA
- ・ 遠隔地から災害支援を可能にする仕組みづくり
- ・ 建設産業におけるi-Construction2.0の推進
- ・ 新技術・新工法の普及